

現状 1 地域の現況と人口推計

(1) 位置と地勢

市の中東部に位置する多田東小地域は、国道173号が地域の西側を南北に通る、能勢電鉄平野駅、多田駅、鼓滝駅があります。

能勢電鉄沿線には商業施設などが立地し、周囲には住宅地が広がっています。また、東側には自然豊かな山林が残っています。



(2) 人口と世帯

人口は、平成17年の13,283人から平成22年の13,576人まで5年間で2.2%増加しました（全市では、0.1%増加しています）。

年齢別人口割合は、35～39歳が最も多く、続いて60～64歳が多くなっています。【左下図】

世帯数は、平成18年が5,036世帯、平成23年が5,517世帯と5年間で9.6%増加しています（全市では6%増加しています）。

地域の将来人口を推計すると、10年後の平成34年にはおおむね13,500人となり、ほぼ横ばいとなる可能性があります。【右下図】



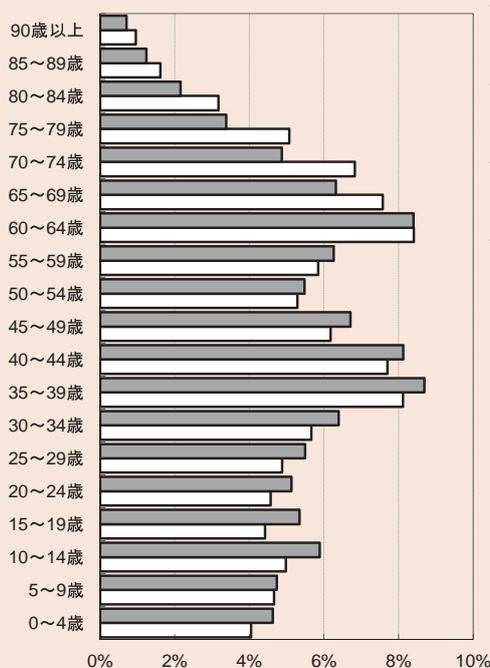
めざす地域像

多田東小地域は、3つの能勢電鉄の駅があり都市部にアクセスしやすく、医療機関や商業施設が充実しています。

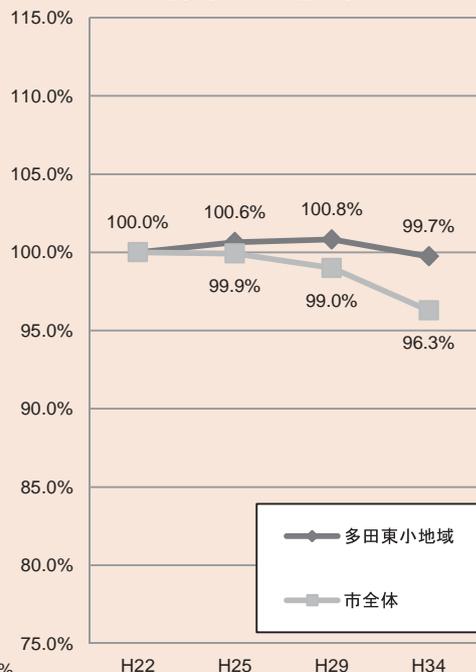
また、塩川など豊かな自然が身近に残っており、1,000年の歴史のある多田神社や西行の碑、サイダー発祥の地など歴史と文化に満ちた地域であるほか、有名人を輩出するなど地域の誇りが豊富です。

今後は、これらの恵まれた環境を地域全体で共有し守っていくために、一人で、家族で、隣近所などで、それぞれができることでまちづくりに取り組めるよう絆を深めます。

人口構成



将来人口推計



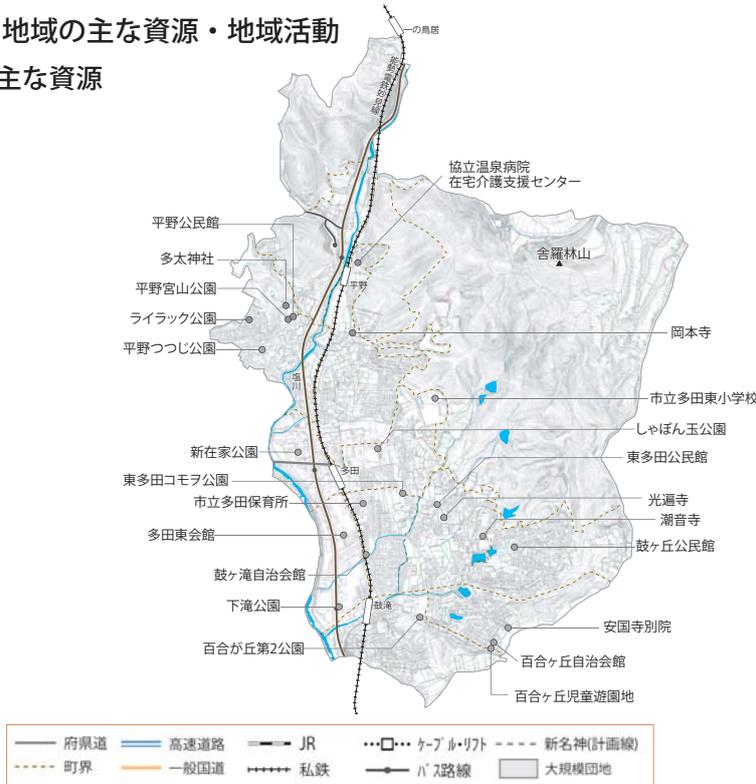
人口全体を母数とする割合で表示
上段：多田東小地域 下段：市全体
(H23 住民基本台帳)

(住民基本台帳ベース)

現状 2 地域の主な資源・地域活動と意識

(1) 地域の主な資源・地域活動

① 主な資源



② 主な地域活動

- ・ 三世代交流 (もちつき、しめ縄作り、昔遊び)
- ・ 中学生から高齢者への年賀状の送付
- ・ いきいき元気教室
- ・ ひとり暮らし高齢者の集い
- ・ 自治会の防犯パトロール
- ・ 多太神社の秋祭り (獅子舞、大太鼓)
- ・ 愛宕山の火祭り
- ・ 公園・道路の清掃
- ・ きんたクラブ、子ども教室
- ・ コミュニティ広報 (ブログ発信)

(2) 市民意識調査 (多田東小地域集計)

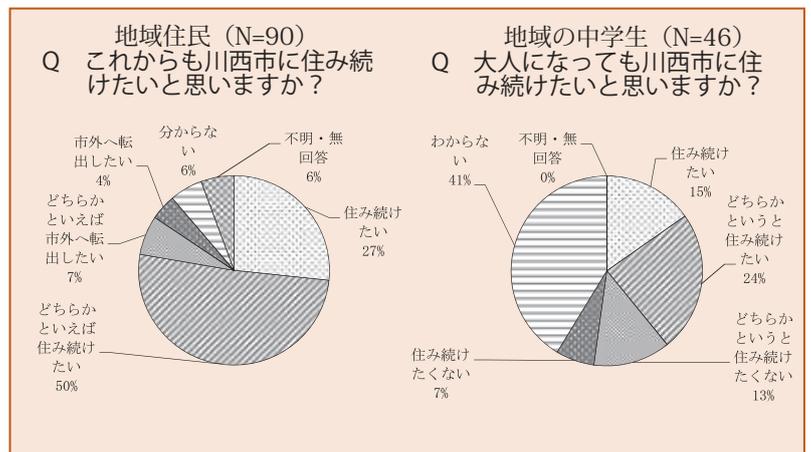
① 定住意向

「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた地域住民は、77%となっています。一方で、中学生では、39%となりました。

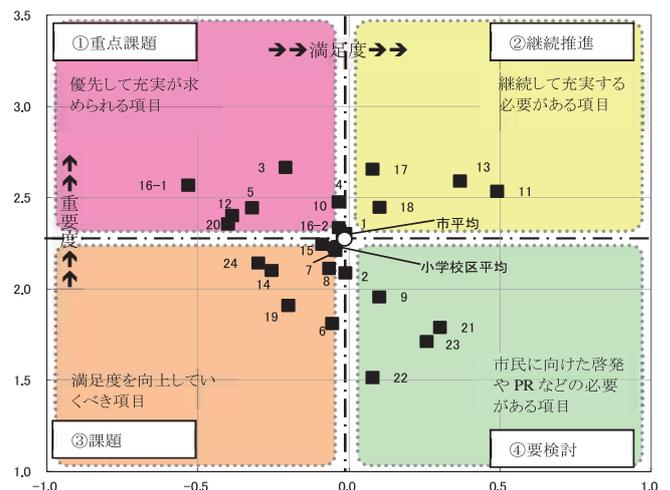
② 施策の重要度・満足度

重点課題として「高齢者の支援」「交通施設の整備」が挙げられています。

また、継続推進すべきこととして「防災力の向上」「上水道の安定供給」などが挙げられています。



①重点課題	②継続推進
3.高齢者の支援	1.健康づくりの支援
4.障がい者の支援	11.省資源・リサイクル
5.子育て支援	13.上水道の安定供給
10.環境の保全	17.防災力の向上
12.公園・みどりの整備	18.生活安全の推進
16-1.交通施設の整備	
16-2.公共交通の利便性向上	
20.労働環境の向上	
③課題	④要検討
6.低所得者福祉	2.地域福祉の推進
7.学校教育環境の整備	9.生涯学習・文化の振興
8.青少年の育成	21.観光の振興
14.都市計画の推進	22.共感・共生のまちづくり
19.産業の振興	23.参画と協働のまちづくりの推進
24.効率的な行財政の運営	



地域の課題とありたい姿

地域別懇談会で議論された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された意見をもとに、多田東小地域のありたい姿と課題を生活のテーマ（第5次総合計画における「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つ）に整理・集約すると、次のようになります。

暮らし

◆…主な課題…◆

- ・多田駅の踏切幅や道路の道幅が狭く、通行に支障があり、整備が必要である
- ・地域や事業者を中心とした商業などの活性化が必要である
- ・運動公園などの整備が必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・オリジナルの地域ブランド*をつくりたい

安全安心

◆…主な課題…◆

- ・高齢者が増加する中、生活の不便さや介護問題への対応のほか福祉拠点の充実が必要である
- ・公園などの防災拠点・避難場所の整備や防犯意識の向上などによる、防犯・防災に向けた取り組みが必要である
- ・空き家、空き地対策が必要である
- ・一部地域の給水本管が細いため、火事の時に不安がある
- ・犬の散歩時のフンの後始末や、ゴミの集積場所へのゴミ出しのマナーの再確認が必要である
- ・周辺に自然が残り、子どもが田んぼや川に親しむことのできるまちにしたい
- ・外来種（アライグマ・ワニガメなど）の増加と被害が問題となっている

◆…地域のありたい姿…◆

- ・非常時には近所で協力して助け合うことができ、普段から安心して住むことができる安全なまちにしたい
- ・山と河、緑が多い自然を活用した、四季の移ろいを感じられるまちにしたい
- ・ポイ捨てや放置ゴミがない美しいまちにしたい

生きがい

◆…主な課題…◆

- ・子どもがボール遊びなどをしてのびのびと遊ぶことができる場所や、活動拠点としての空間が必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・子どもたちがのびのびと遊べる場所があり、大きく育つことができるまちにしたい
- ・既存の施設を上手に使うなどにより、生涯学習ができるまちにしたい

つながり

◆…主な課題…◆

- ・活気のある祭りに、昔から住む人も新しく引っ越してきた人も集まってつながりをつくるなど、伝統文化を中心としたコミュニティ意識の高いまちにしたい
- ・高齢者や無関心層の増加により、自治会への加入者が少なくなる傾向にあり、行事に参加しない人も増えているため、地域活動を活性化する方策が必要である
- ・地域活動の役を引き受けてくれる人や、大変なことは分担して手伝ってくれる人を育てる必要がある
- ・新旧の住民の隔たりを越えて、コミュニケーションを促進する必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・住民同士がふれあう機会が身近にあり、公園などを中心としてコミュニティの行事が行われるまちにしたい
- ・一つ一つの地域活動を充実させ、参加の機会を増やすことで、多くの人が参加するまちにしたい

地域のありたい姿を実現するための取り組み

地域別懇談会で検討された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された、多田東小地域のありたい姿を実現するための地域の取り組み内容を整理すると、次のようになります。

暮らし

- ・地域の景観に配慮した看板にする
- ・地域ブランドの立ち上げに向け、地域や事業者を中心とした活性化に取り組む
- ・観光ボランティア*の育成

安全安心

- ・防災ボランティアの拡充
- ・防災マップの作成
- ・地域と個人で定期的に公園の清掃を行うなど自然環境の美化、整備に努める
- ・犬の散歩時に仲間で注意し合い、まちの美化意識を高める

生きがい

- ・保育所との連携（ノウハウを教えてもらう）
- ・多太神社の秋祭りの毎年開催
- ・高齢者から子どもへの伝承（ワラジ作り、しめ縄作り、たこ作り、遊びなど）

つながり

- ・伝統文化をきっかけに、世代を超えた交流を進める
- ・やりたい人が集まる自治会、入りたくなる自治会へ

市の主な関連する施策（参考）

- ・施策 1 良好な都市環境を整備します
- ・施策 2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます
- ・施策 4 公園を利用しやすくします
- ・施策 11 商工業を振興します
- ・施策 15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます
- ・施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します
- ・施策 25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します
- ・施策 26 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します
- ・施策 27 生活安全の向上を図ります
- ・施策 28 豊かな自然環境を次世代へ継承します
- ・施策 29 快適な生活環境を守ります
- ・施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します
- ・施策 32 明るく楽しい子育てを支援します
- ・施策 39 市民の学びを通して地域社会を支えます
- ・施策 40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します
- ・施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します